

碎石って、なに？



**碎石は、岩石を爆薬・重機で掘り起し、機械で砕いて形を整え、
使う目的によって大きさごとにふるい分けたものです。**

どこに使われているの？

道路・線路・橋・空港・港・海や川の護岸・学校やビルなどの建物・お家の土台。

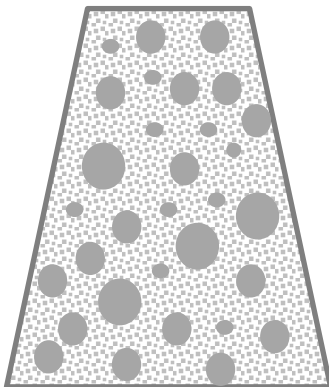
皆さんのまわりには碎石を使ってつくられたものがたくさんあります。

碎石そのままの形だったり、コンクリートやアスファルトに姿を変えたいして。



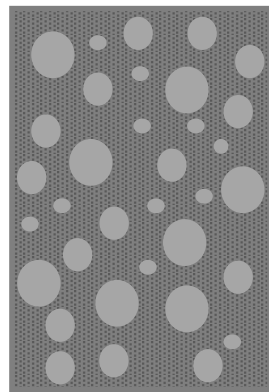
たとえば…

コンクリートは…



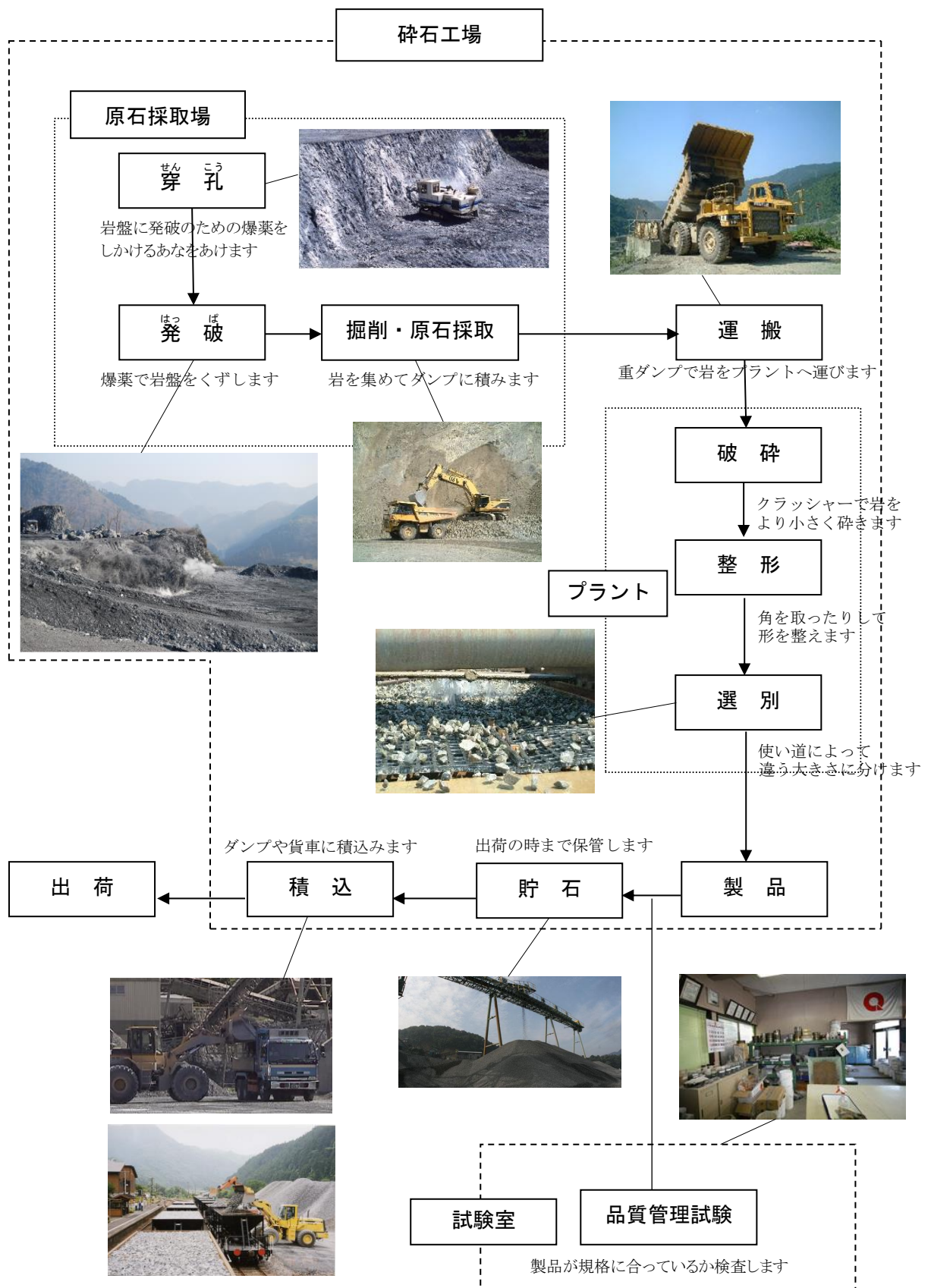
セメント+**碎石**(または砂利)+砂+水を混ぜ合わせてできています。

アスファルト舗装は…



石油アスファルト+**碎石**+砂+石粉を混ぜ合わせてできています。

どうやってつくるの？



どんな石でできているの？

茨城県の砕石に使われている岩石は、遠い昔(古生代～中生代)に海底に積もった砂が圧力やマグマの熱の影響を受けて固くなった「硬質砂岩」がほとんどです。他にも火山でマグマが冷えてできた角閃岩などの火成岩も一部にあります(それぞれの地方の地質によって使われる岩石の種類はちがいます)。

たとえば石炭は、古生代の石炭紀に生えていたシダ植物の大森林が3億年の間に変化してできたものですが、砕石の原料である岩石も、同じように地球が何億年という長い年月をかけて作ってくれた大切な資源のひとつなのです。

時代		年代	おもなできごと		
新 生 代	第4紀	完新世	今日～1万年前	人類の出現	↑ 新しい時代
		更新世	1万年前～180万年前	「氷河期」と「間氷期」の繰返し	
	新第3紀	鮮新世	180万年前～500万年前	地上の乾燥とともに草原が広がる	
		中新世	500万年前～2250万年前	日本列島の誕生	
	古第3紀	漸新世	2250万年前～3850万年前	哺乳類の種類が増える(小型が中心)	
		始新世	3850万年前～5500万年前		
暁新世		5500万年前～6500万年前			
中 生 代	白亜紀	6500万年前～1億4000万年前	被子植物の繁栄、恐竜の全盛時代→絶滅	このくらいの時代に形づくられたと考えられています	
	ジュラ紀	1億4000万年前～1億9500万年前	恐竜の大型化、始祖鳥の出現		
	三畳紀	1億9500万年前～2億3000万年前	爬虫類の繁栄、恐竜の出現		
古 生 代	ペルム紀	2億3000万年前～2億8000万年前	シダ植物から裸子植物へ	↓ 古い時代	
	石炭紀	2億8000万年前～3億4500万年前	両生類の繁栄、爬虫類の出現		
	デボン紀	3億4500万年前～3億9500万年前	「魚の時代」、両生類の上陸		
	シルル紀	3億9500万年前～4億3500万年前	シダ植物の上陸、昆虫も上陸?		
	オルドビス紀	4億3500万年前～5億年前	ウミユリ、オウムガイなどの出現		
	カンブリア紀	5億年前～5億5000万年前	三葉虫の出現		
先カンブリア紀		5億5000万年前～43億年前	地殻の形成、生命の誕生		
		46億年前	地球の誕生		

石を採り終えたあとの山は？

岩石を採ったあとの山は、そのままでは岩肌がむき出しになってしまいます。

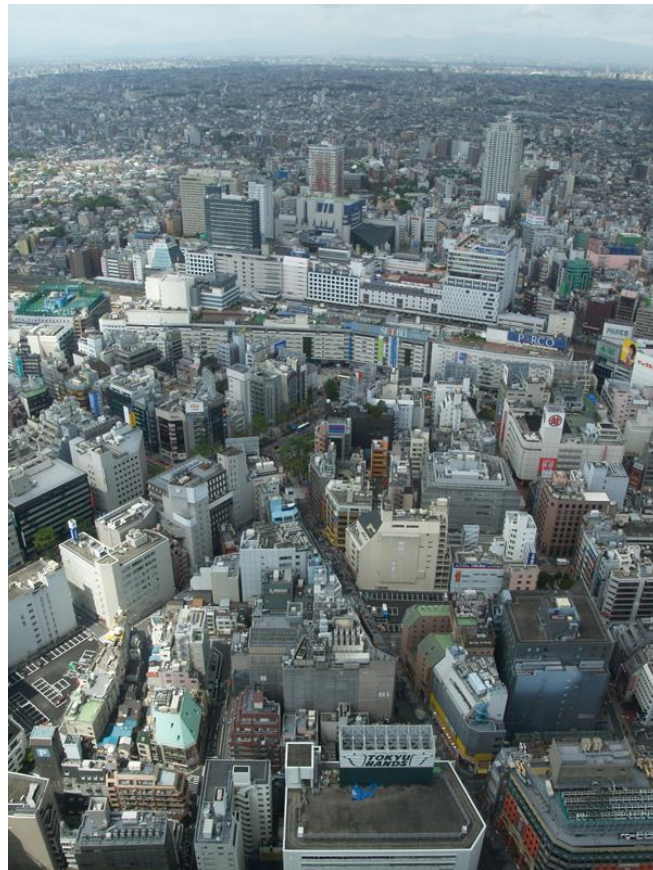
石を採り終えたあとの斜面には苗木を植え、緑化をして自然に戻さなければなりません。このことは石を採るための法律(採石法)でも決められています。

砕石工場では、各工場ごとにその山に合ったいろいろな工夫をしながら石を採り終えた山を自然に戻すことをしています。



碎石はまちづくりにかかわらず 使われる大事な資材です。

みなさんのまちは碎石がなければつくることが出来ないと言ってもいいかも知れません。そのくらいたくさんの場所で使われています。みなさんのまわりのどこに使われているか、いちど探してみてくださいね。



作成 一般社団法人 日本碎石協会茨城県支部

茨城県碎石事業協同組合

電話 029(305)5035 FAX 029(305)5036